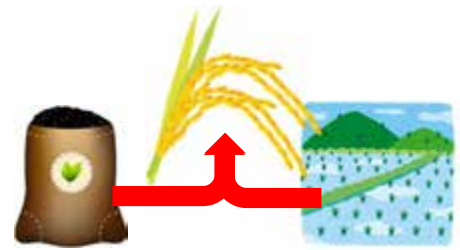


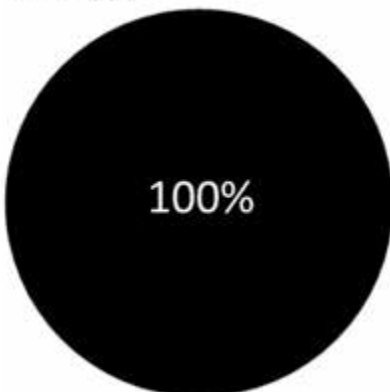
次年度にむけて



1. 土づくりを実践しよう

稲は肥料と土壌から養分を得ています。水田土壌のケイ酸・リン酸・加里が欠乏すると稲作全般の収穫量に大きな影響があります。2020年に実施した土壌分析の結果(下記グラフ参照)を見ると基準値に対して不足している圃場が多くみられます。極端な気象に耐えるためにも土壌改良資材を施用して不足している要素を補いましょう。

ケイ酸



□ 適正 ■ 不足

【役割】は？

受光態勢を向上し、根の活力を増幅します。登熟や品質を向上させ、高温障害や冷害を軽減させます。

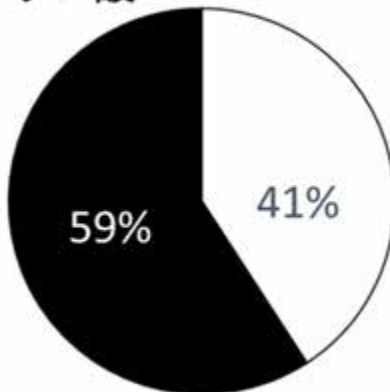
【不足】すると？

病害虫に弱い状態や倒伏しやすい状態や乳白米になりやすくなります。

【補う】には？

ケイカル(500kg/10a)またはしきぶホワイト(100kg/10a)を施用しましょう。

リン酸



□ 適正 ■ 不足

【役割】は？

窒素と協力して作物の成長、分けつ、根の伸長、開花結実を促進します。エネルギー伝達に重要な役割を担っています。近年の肥料成分が窒素主体になっているため不足しています。

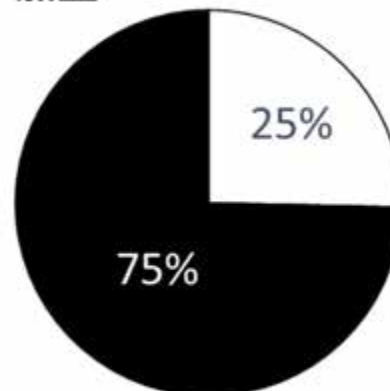
【不足】すると？

葉の幅が狭く直立し、分けつが少なく、草丈も短くなり、生育が劣ります。

【補う】には？

ミネラルPK(60kg/10a)を春に施用しましょう。

加里



□ 適正 ■ 不足

【役割】は？

加里は根肥と呼ばれ根張りの向上や根の活性を維持します。またヒカリ肥料とも呼ばれ日照不足の際に光合成をサポートする役割も担っています。

【不足】すると？

タンパク質、光合成、でんぷん合成が阻害され、下葉に赤褐色の斑点が発生し、根の活力が衰える。

【補う】には？

ミネラルPK(20kg/10a)を中間追肥に施用しましょう。

2. リン酸・加里・カルシウムをミネラルPKで補給し環境に強い稲体

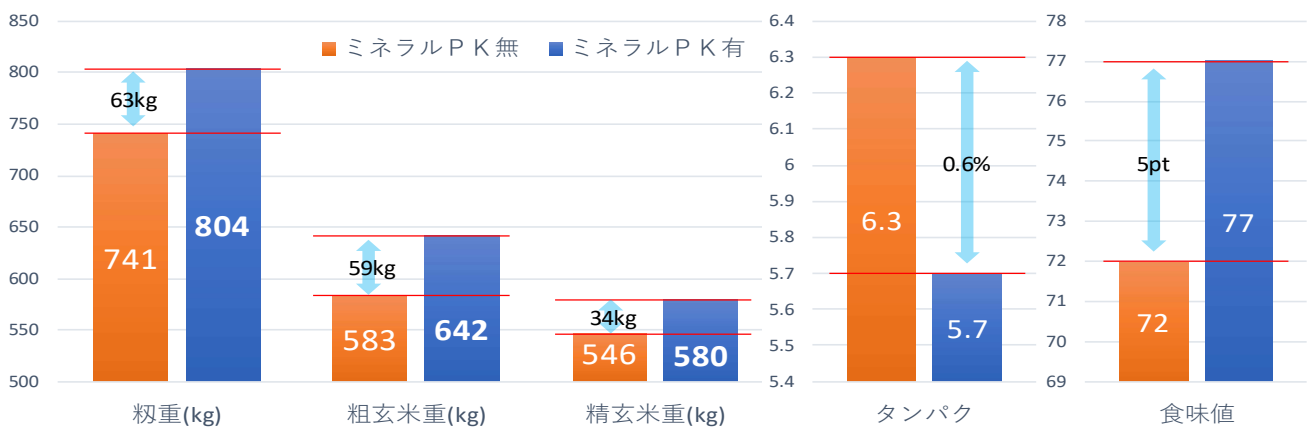
を作り食味も向上させましょう。

【ミネラルPKの成分表】

資材名	成分(%)						施用量 kg/10a	経費(円) ※税別		
	リン酸	加里	カルシウム	苦土	アルカリ	ケイ酸		単価	金額	PKとの差
ミネラルPK	20	18	28	6	37	1.5	60	1,500	4,500	—
輸入ようりん(粒)	20			12	45	20	60	1,780	5,940	1,440
PK化成40号	20	20		4			60	3,180	9,540	5,040

【ミネラルPKの春施用試験(40kg/10a)結果】10a換算値

(丹南農林総合事務所調べ)



ミネラルPKの施用試験を実施した結果、精玄米重が増収し、低タンパクにより食味も向上しました。積極的に施用して増収・食味向上を目指しましょう。